



すずかけ

5月号 高松市立川東小学校 2022.4.28



校長だより

シビックプライドを育てる

高松市の教育目標の一つに「高松で育ち、高松で学び、高松で暮らしてよかったと思える教育」があります。地域と連携した学習の中で、児童生徒にシビックプライドを育てることの重要性が挙げられています。教育現場で特に最近、この「シビックプライド」という言葉を多く聞くようになりました。シビックプライドとは、「郷土愛」とは少し異なり、自分の住んでいる地域を大切に考え、よりよい地域にするために自ら関わるという当事者意識に基づく自負心を意味します。地域を育むために主体的に地域づくりに参画するということです。「個の時代」と言われる今だからこそ、多くの人と関わり、自分の力を役立て、ともによりよい社会をつくりあげようとすることは、社会の一員としての資質を育てる点で大きな意味をもちます。

本校は、総合的な学習の時間「龍っ子学習」を核にして児童にシビックプライドを育てようとしています。今年度は3～6年生の縦のつながりをより重視し、学習内容を整備しました。様々な体験等を通して自分の生活する地域について知り、そのよさや課題を見出して発信し、地域の形成者の一人として主体的に町づくりにかかわっていかうとする態度を育てたいと考えます。そうすることで、愛着や共感をもって川東のまちを見つめることができ、それがまちづくりへのさらなる参加意欲へとつながります。

4/24には東谷の祇園座歌舞伎小屋で農村歌舞伎公演が行われ、昨年10月に引き続き、6年生児童が歌舞伎を演じました(4/24 四國新聞、読売新聞に掲載記事)。この貴重な体験活動が、わがまちの伝統文化の意義や歴史を深く理解し、それを地域の方と一緒に守り受け継いでいかうとする、まちづくり参画となります。今年、校区文化祭(11/13)の日を「龍っ子学習デー」(学習参観日)として、児童が龍っ子学習の成果について交流、発信する一日として計画しています。

まちに関わり、まちを知り、まちをよくしていかうとする「子どもが主役」の学習活動によって、多くの方に見守られていることを実感し、シビックプライドと同時に自信や自己有用感が育ちます。私たちおとなもまたこのシビックプライドを大切にしたいものです。



【お礼】

個人懇談(4/18～22)、学習参観(4/23)へのご協力、ご出席につきまして、ありがとうございます。新しい学級、新しい担任となつての年度はじめてのこの時期、保護者の方と直接お会いして話すことが大切だと考え、今回個人懇談の機会を設けました。お話をおうかがいすることで子どもへの理解がより深まり、今後の指導に生きる有意義な懇談となりました。ご多用の中、ご協力いただきましたことに対し心よりお礼申し上げます。お子さまの成長に向けて今後とも連携を取りながら進めてまいりたいと考えます。どうぞよろしくお願ひいたします。

教頭から



新しく教頭になりました黒田です。川東小学校は4年目となります。他の学校ではなく、大好きな川東小学校で教頭になれたこと、本当に幸せに感じます。288名の大切なお子様一人ひとりの人権を守り、一人ひとりが「学校楽しかった!」と毎日お家に帰ることができるよう、全力で関わっていきます。

川東小の保護者はみなさん学校に協力的でいつも感謝しております。今後とも、子どもたちのために、協力、連携できれば幸いに存じます。

学校で気になることや心配なこと、また、こんなことをやってみよう!などご提案などありましたら、いつでもご連絡ください!今後とも、どうぞよろしくお願ひいたします。

始まります「探究タイム」

今年度、新しく「探究タイム」を実施します。一人ひとりが課題を設定し、ひたすらその課題に対して集中して探究する時間です。自分の興味のあるものを調べたり、ものづくりを行ったり、絵をかいたりするなどテーマは自由です。自分の興味や関心と向き合つて課題を設定し、一人ひとりが自由で個性のある探究タイムを過ごしてほしいと考えています。活動を通して、新しく発見したり、工夫を加えたりしながら活動し、学ぶことの本質を感じられるようにしていきます。時間は朝の時間に週1回程度を予定しています。対象は3年生から6年生です。6月から本格的に活動しますので、ぜひお子さまに活動の様子を聞いてみてください。